

ウォッチング 28



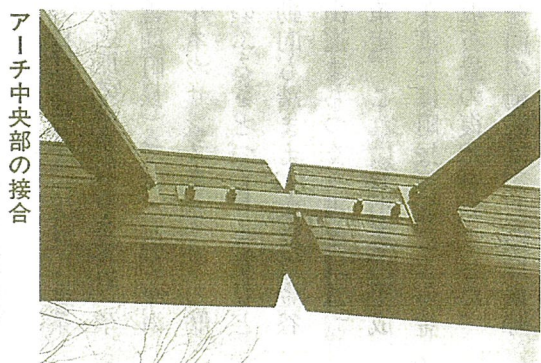
木材を超えた木材



猫越川に架かる女橋

天城湯ヶ島町にアーチ橋が完成。男橋、女橋と名付けられたふたつの歩道橋は「花いちもんめ計画の一環として、国立公園地区内の『湯道』の観光ルート、一級河川狩野川水系の猫越川と本谷川の合流点に架けられた」(天城湯ヶ島町商工観光課)。

使用された主材料は、比重1.0以上、強度は国産針葉樹の2倍以上という「木材を超えた木材」。その重・硬さゆえ、乾燥・加工が困難なため集成材にはならず、アーチ部等大断面材は、角材をドリフトピンで串刺しにした積層材として施工された。



アーチ中央部の接合

取材メモから

■橋名	出会い橋(男橋・女橋)
■形式	リブタイト・アーチ
■規模	横長 39.0m・幅員 2.0m
■使用樹種	ボンゴシ材 (西アフリカ産硬木)
■主部材の接合	ダウエルピン工法およびボルト工法



今夏も吉林省へ契約に

今回の展即会には、全国から厳選されたケヤキ、タモ、ナラをはじめ、中国材を含む約1,600㎡が出品された。

1日に開催された入札会では、国有林の下落が多かったものの、最終的には90%の出来高で、2億円余を売り上げた。

山形理事長は「総じて昨年より質が良く、平均単価も高かった。来年も良材の集荷に努めるべく、中国材に関しては既に打合せも済ませ、今夏には吉林省に契約に出掛ける予定」と早くも来年に向け意欲を示している。

吉林省は、中国の中では木材資源が豊富ですが、中国という国自体は、木材使用量から見ると木材が不足している国です。それなのになぜ毎年大量の原木を輸出するのかといえば、良い材を輸出して外貨を獲得し、それから外国の良い設備機械、技術を導入するという考えです。

天井板、家具などに利用します。(幕副局長) 現在吉林省紅石では、主として四面プレーナー掛けの板材、あるいは集成材の工場の建設を推し進め、新しい木工業の振興をはかっているところ。また、紅石は、交通、通信関係が非常に便利になっています。機会があれば是非一度紅石にお出掛け下さい。(高橋) 静岡県は日本の国内でも、有数の木材生産県であり消費県でもあります。是非今後とも緊密なお付き合いをお願いし、機会がありましたら貴省をお訪ねしたいと思っております。本日はありがとうございました。



■ 洪元燮 総経理

1935年生まれ、現在ピリヤードに興味を持っている。好きな言葉は「自知之明」。魯迅の言葉で愛用して使っている。意味は、自分のことは自分で正しく消化すること。一定の地位まできて生意気になって下の方を見ないということは絶対しないこと。血液型O。

静岡県内外広葉樹(協) (山形理事長) では、去る二月二六日(三月一日、恒例の全国優良広葉樹素材展 示即売会を開催しました。これに伴い、タモ、ナラ、イチイ等約二〇〇㎡の出品をいただいた中国から、洪元燮吉林省総経理を団長とする訪日団が来静、二月二八日に静岡県庁を表敬訪問しました。その後本会にて、訪日団と永原稔県日中農林水産交流協会(元副知事)、高橋会長、山形理事長等が懇談、今回はその模様をダイジェストでお届けします。



この人と30分

ぶらり訪問 15

木工産業にかた

中国吉林省林業進出口公司
総経理 洪元燮氏

出席者名簿

中国側	元燮	吉林省林業進出口公司総経理
陳剛	遼寧省対外貿易総公司総経理	
張玉環	吉林省林業進出口公司原木部経理	
幕廣学	吉林省紅石林業局副局長	
劉典義	吉林省紅石林業局林産品経銷公司経理	
周令建	遼寧省対外貿易総公司総経理弁公室主任	
日本側	高橋孝三	静岡県木材協同組合連合会会長
山形清	静岡県内外広葉樹協同組合理事長	
永原稔	静岡県日中農林水産交流協会会長	
高橋雄一郎	富士物産公易(株)社長	
通訳	佐藤豊	富士物産公易(株)

(敬称略、順不同)

伐採に命をかける林業労働者

(高橋会長) 家具、木工が盛んな本県では、その材料の七十%以上を外材に頼っているのが実状です。しかし最近では、南方材資源が枯渇、中国から送って下される材は非常に貴重で価値のあるものです。そういう意味から申ししても、今後とも静岡県の業界のために材を供給して下さるよう、是非お願い致します。

本日は吉林省での林業、木材関係の現況をお伺いしたいと思っております。(洪総経理) 紅石(紅石)宮林局は我が吉林省の中でも有力で、量、質ともに充実しています。紅石の年間伐採量は三六万㎡で、今後総合的に林業、住宅、従業員対策等を進めていく計画です。(永原協会長) 中国では林業労働者の賃金が、一般よりかなり高くなっているのと同じような状況があるのですが、給与体系というのは確立しているのでしょうか?

(洪) 伐採の第一線で仕事をしている場合、これまでは「一日××時間労働」とあれば、何本木を伐つても同じ給料でした。現在は、伐採数量に対して給料を与えているので、現場の労働者は命をかけ、できるだけ

多く伐採して収入を増やそうとしています。ただあくまでもそれは、年間の伐採計画内の範囲です。

伐採と植林をバランスよく

(高橋) 現在の林業政策で一番の重点事項は何でしょうか?(洪) 生態の平均化、いわゆる伐採数量と植林数量とのバランスをとることが第一。現在は年間三六〇万㎡を伐採すると同時に植林しています。(高橋) 輸出される広葉樹の林齢は何年くらいですか?(洪) だいたい一〇年前後です。

年間三六〇万㎡の伐採と植林をずっと守っていけばバランスがとれます。ただし、植林する樹種は必ずしも伐採した樹種を植林するわけではなく、山、土地の質、環境等を考えて行います。

材を輸出して外貨を獲得

(高橋) 吉林省の木材産業の将来像、ビジョンについてどのようにお考えでしょうか?(洪) MDF、パーティクルボードを重点として、木工産業に力を入れていきたい。もし皆さんに、何か合作の意向がありましたら、ぜひ私共に声を掛けて下さい。